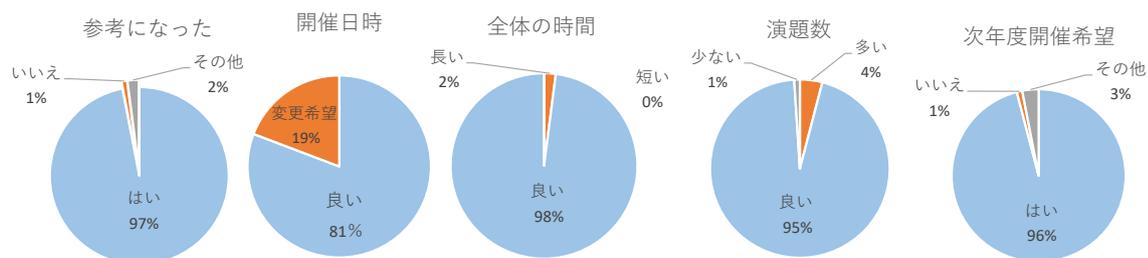


令和5年度 看護の取り組み発表会アンケート集計
 参加人数 127人 アンケート回収 99枚 (回収率77%)



「今後も看護の取り組み発表会の開催を希望されますか？」

- ・自病院では扱わない事例等が聞くことができ勉強になる
- ・在宅看護と病院の連携が参考になった
- ・他病院の事を知る機会になる
- ・たくさん取り組みが聞けて自部署へ持ち込める
- ・知らなかったことや深く考えていなかった事を改めて学べた
- ・病棟で実施して困っていることも改善できる案が聞ける
- ・看護や業務を行う上で参考になる・色々な看護の取り組みが知ることができる
- ・毎年ではなく隔年、2年おきくらいでどうか。と思います
- ・他病院の取り組みを参考に気づきを得るチャンスになる・学会の発表の足掛かりとなる
- ・近院の取り組みを学べるし発表者にとっても学びとなる為
- ・自分では気づけない視点や考え方を知ることができ成長につながる

「全体的な意見、感想」

- ・興味深いテーマが多い
- ・ホールが狭い、密になっている
- ・質問の時間が長い
- ・病棟勤務以外で活躍されている看護師の患者への関りが見え勉強になった
- ・業務が忙しい中研究されていて参考になり・相手にどう伝えるか考え学べた
- ・他施設でも同じ課題や問題を抱えている事を知ることができた
- ・実施している事がうまくいかない課題もある為再度見直そうと思う
- ・高齢者や認知症に関わる演題が多く参考になった
- ・会場が少し狭い・発表者とパワーポイントする人を分ける（発表するだけで大変、余裕もなくなるため）
- ・様々な取り組みについて聞くことができ日々の看護に活かしていきたい
- ・有意義な時間となった・会場がやや狭かった
- ・司会も進行もスムーズで良かった
- ・発表のスタンスは研究とせずプレゼンして相手にわかるようなものにすると思った

「次回希望する研修」

- ・看護師のストレス、心のケア
- ・接遇、感じの良い話し方
- ・急変に気づくポイント、観察の仕方
- ・終末ケア、グリーフケア
- ・フットケア
- ・認知症のケア、接し方